

Flower Station in Fukuoka

～暮らしに花を～

福岡の切花生産ランキング 全国2位

福岡の切花消費ランキング 全国42位

このギャップの原因は？

- 花より団子
- 九州男児
- 県民性（派手好きで見栄っ張りだけどケチ）



明確な理由が見当たらない。



花きの県別産出額（平成 23 年）

福岡県の花の県内産出額は 121 億円で、
花き全体の 66% を占めており全国第 2 位

（第 1 位愛知県、第 2 位福岡県、第 3 位千葉県）



資料：農林水産省「生産農業取統計」

切花の年間購入額（平成 23 年）

切花の年間購入額。政令指定都市で
ある福岡市では第 42 位

順位	全国平均	(円)
1	福岡市	13,503
2	仙台市	13,311
3	大津市	12,882
4	松江市	12,171
5	静岡市	12,010
5	5	5
12	鹿児島市	10,616
16	長崎市	9,823
22	佐賀市	9,381
31	大分市	8,669
40	宮崎市	7,385
42	福岡市	6,864

総務省統計局「家計調査（家計収支）」データより
調査対象は二人以上の世帯を対象

農林水産省「生産農業取統計」

総務省家計統計局「家計調査」(家計収支)データ

- 目的:切花の消費量を増やすため消費動向調査を実施し、今後の消費者へのアプローチに繋げる。
※福博花しるべ事業の一環となります。
- 主催:福岡市
- 共催:福岡花き消費推進協議会
- 協賛:福岡県花卉農業協同組合、JA福岡市、JA福岡市東部、JA糸島(株)日比谷花壇、福岡花商協同組合
- 日時:平成27年3月30日(月)～4月3日(金) 11:00～19:00
- 場所:JR博多駅前広場
- 内容:①福岡における花の生産量と消費量の資料パネル展示
②上記の簡単なチラシ作製・配布
③消費量増加策アンケート(アンケート参加者へ花の種をプレゼント)
④カジュアルフラワー展示即売会
⑤その他

展開予定場所

予定場所 JR博多駅



予定場所



予定場所

展開期間 3月30日（月）～4月3日（金） 5日間

スタッフ 3名

売上 5日間計 249,534円 日販平均 49,906円

経費 647,084円

- 仕入に対して2.5倍の掛率で販売。
- 切花、鉢物、花束の3種類で販売。
- 切花、花束が良く売れる。（ほとんどが自家消費分）
低価格のガーベラ、バラが売れる。
花束は1,000円のもの一番よく売れる。
- 鉢物はあまり売れなかった。（特に胡蝶蘭）
- 閉店一時間前に半額にして販売したが飛ぶように売れる。
価格設定に課題。









花束



ミディコチョウラン・ハーブ鉢



切花



多肉植物

福岡県の花き産地マップ



キク



バラ



カーネーション



ユリ



シクラメン



ストック



ガーベラ



※北九州市・福岡市以外はJA単位



トルコギキョウ



ユリ



ユリ



ユリ



ユリ



ユリ



ユリ

産地マップ (品目一覧)

- ① キク
- ② バラ
- ③ カーネーション
- ④ 洋ラン(鉢物・切花)
- ⑤ ガーベラ
- ⑥ トルコギキョウ
- ⑦ ユリ
- ⑧ シクラメン(鉢物)
- ⑨ アジサイ(鉢物)
- ⑩ リンドウ(鉢物・切花)
- ⑪ ストック
- ⑫ ホオズキ
- ⑬ クジャクソウ
- ⑭ チューリップ
- ⑮ ギカンチウム
- ⑯ 枝物
- ⑰ エメラルドウェーブ
- ⑱ その他切花
- ⑲ その他鉢物
- ⑳ 花壇用苗物
- ㉑ ツツジ(花木)
- ㉒ ツバキ(花木)
- ㉓ その他花木



福岡県の主な花

キク

昔から日本人に親しまれている花で、福岡県を代表する花でもあります。1本の茎に大きな花が輪生しているものを「輪ギク」といいますが、その他の茎が短かくて数輪咲いている「小ギク」や「スプレーギク」などがあります。



主な生産地
八女市、糸島市 他

バラ

世界中で何万もの種類があると言われており、色や香りが様々な花です。近年では、交配種に属する花として注目されています。バラの香りに、心を落ち着かせてくれる効果などがあるとされています。



主な生産地
福岡市、糸島市、うきは市 他

トルコギキョウ

トルコギキョウという名前ですが、北アメリカの原産のリンダ科の花です。花の色や形はバラの様に色があり、中にはバラやカーネーションに似た香りの花もあり、とてもバラエティに富んだ花です。



主な生産地
糸島市、宮若市、津田町 他

ガーベラ

かわいく可愛い花です。黄色、ピンク、白、オレンジなど花色は豊富です。お花屋さんで見る花として定番の一つです。また、花壇などに飾るのにも適しています。



主な生産地
広川町、八女市、大刀洗町 他

洋ラン

見た目に上品で、高貴なイメージから多くの人に愛されている花です。コショウランの他、シンビジウム、デンドロビウムなど多種多様な種類があります。花もちが長く、長く楽しめることができます。



主な生産地
糸島市、小郡市 他

カーネーション

母の日の花として世界中に知られている花です。1本の茎に大きな花が輪生しているもの、茎が短かくて数輪咲くものなど様々な種類があります。アスファルトやコンクリートなどの硬質でもよく育ちます。



主な生産地
うきは市、久留米市、福岡市

花きの県別産出額（平成 23 年）

福岡県の花の県内産出額は 121 億円で、花き全体の 66%を占めており全国第 2 位（第 1 位愛知県、第 2 位福岡県、第 3 位千葉県）



資料：農林水産省「生産農家等調査統計」

切花の年間購入額（平成 23 年）

切花の年間購入額。政令指定都市である福岡市では第 42 位

順位	全国平均	(円)
1	福岡市	13,503
2	仙台市	13,311
3	大津市	12,882
4	松江市	12,171
5	静岡市	12,010
12	鹿児島市	10,616
16	長崎市	9,823
22	佐賀市	9,381
31	大分市	8,669
40	宮崎市	7,385
42	福岡市	6,864

総務省統計局「統計調査（統計局）」データより
統計調査は二人以上の世帯を対象

花きの県別産出額（平成 23 年）

福岡県の花の県内産出額は 121 億円で、花き全体の 66%を占めており全国第 2 位（第 1 位愛知県、第 2 位福岡県、第 3 位千葉県）



資料：農林水産省「生産農家等調査統計」

切花の年間購入額（平成 23 年）

切花の年間購入額。政令指定都市である福岡市では第 42 位

順位	全国平均	(円)
1	福岡市	13,503
2	仙台市	13,311
3	大津市	12,882
4	松江市	12,171
5	静岡市	12,010
12	鹿児島市	10,616
16	長崎市	9,823
22	佐賀市	9,381
31	大分市	8,669
40	宮崎市	7,385
42	福岡市	6,864

総務省統計局「統計調査（統計局）」データより
統計調査は二人以上の世帯を対象

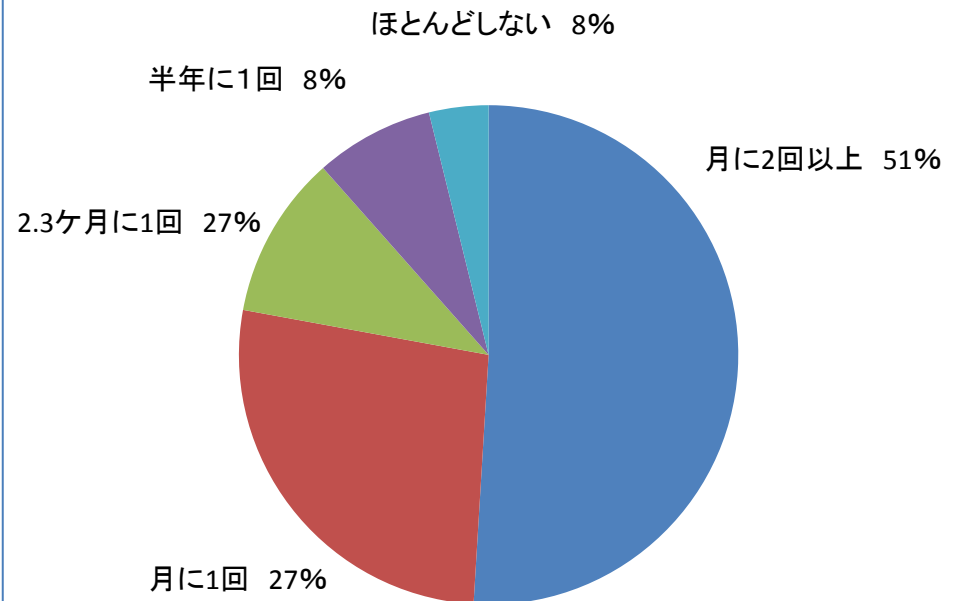


花に関するアンケート調査を行いました。

アンケート回答者 女性 126名
男性 5名

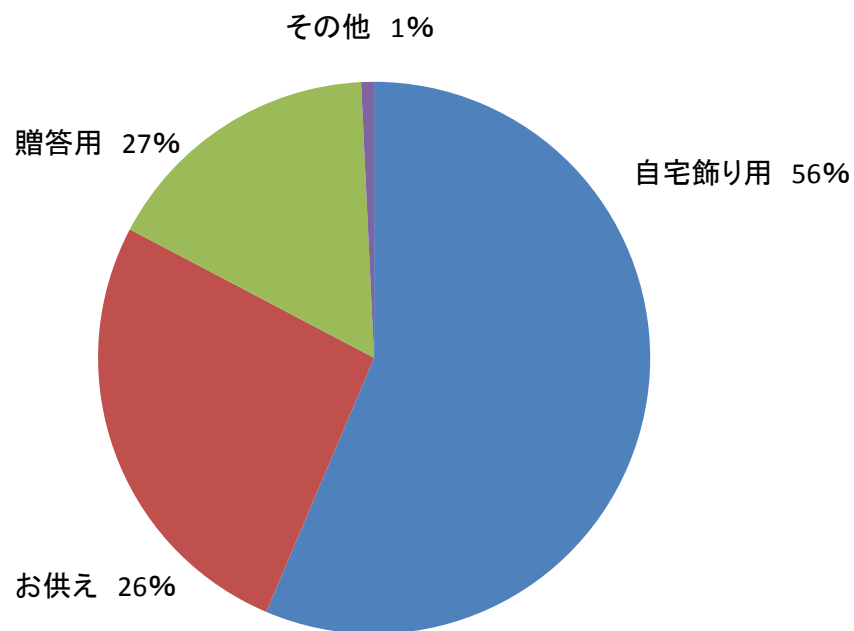
女性	70代	21人
	60代	33人
	50代	26人
	40代	22人
	30代	15人
	20代	7人
	10代	2人

あなたはどのくらいの頻度で花(切花、鉢花、花壇苗、観葉植物等をいいます。)を購入しますか？



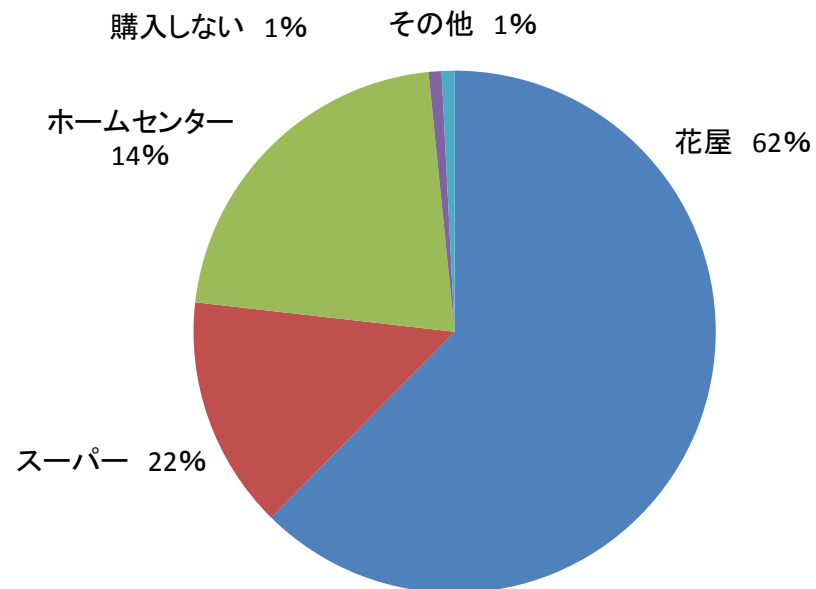
全体の半分以上の方が月に2回以上の切花、鉢の購入をしている。

花を購入されると答えた方
あなたはどのような目的で花を購入しますか？



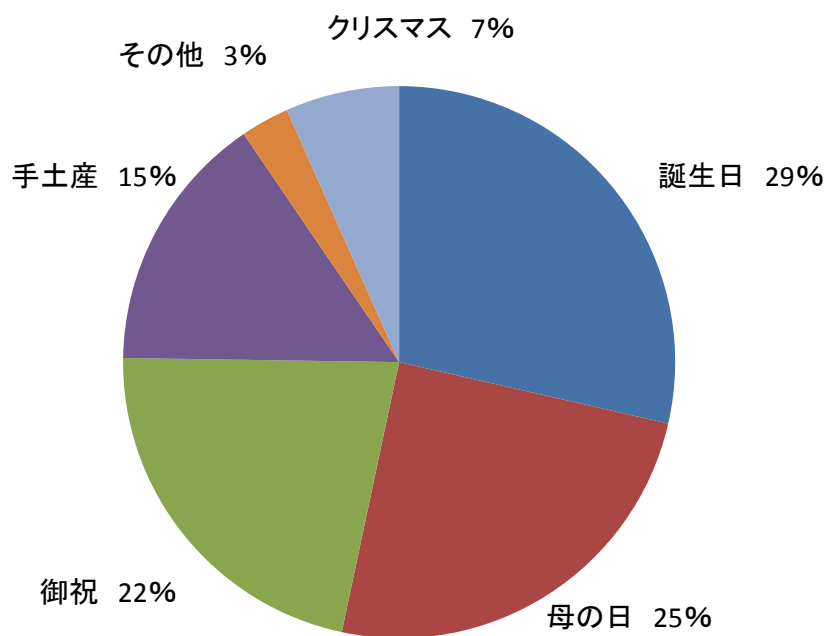
自宅飾り用、お供え用と自分を買う
機会が半分以上をとっている。

あなたはどこで花を購入しますか？



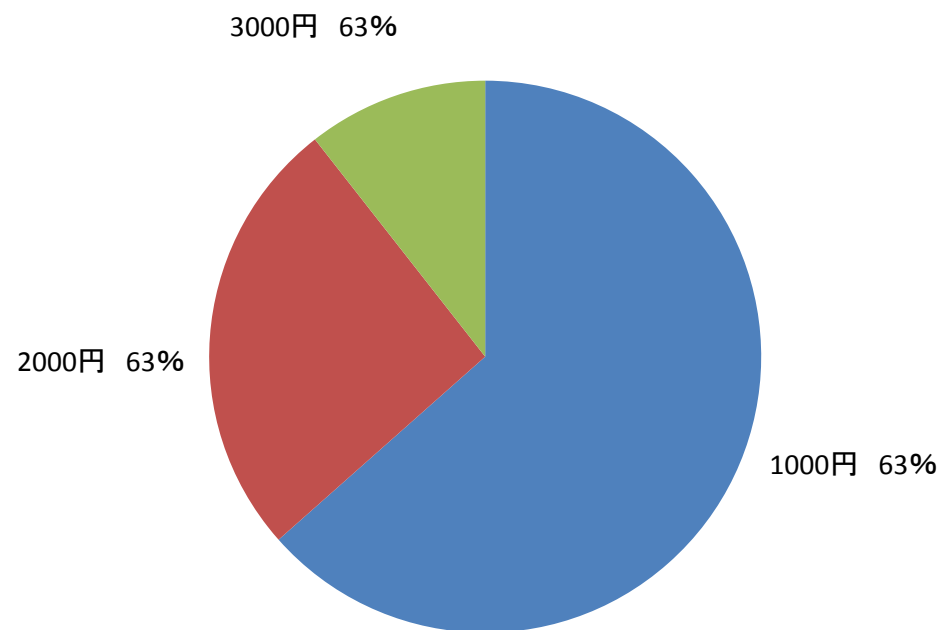
6割以上の方が花屋での購入だが、
スーパーでの購入も多くなってきて
いる。

贈答用と答えた方
あなたはどのような機会に花を贈りますか？



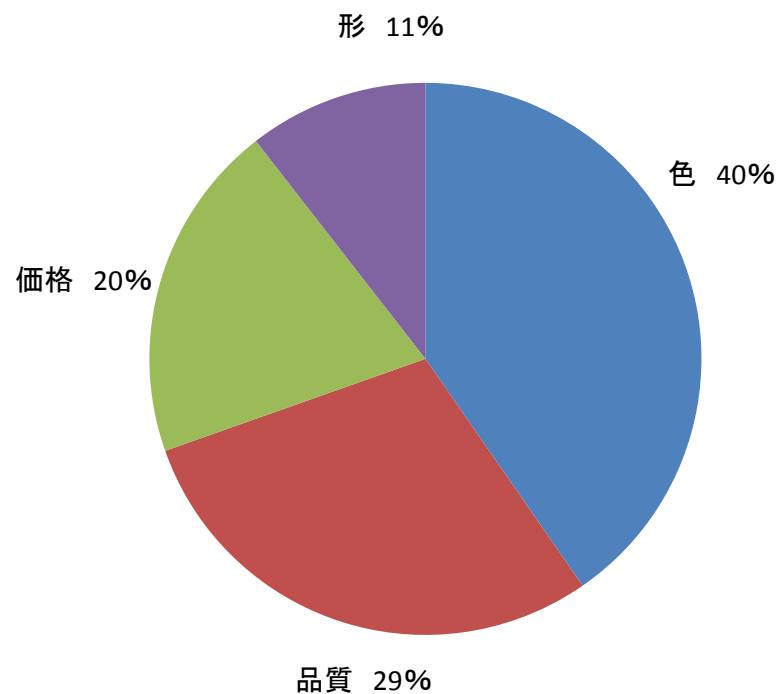
誕生日が多く、母の日、御祝と続いている。

花の価格について、いくらの花であれば気軽に購入できますか？



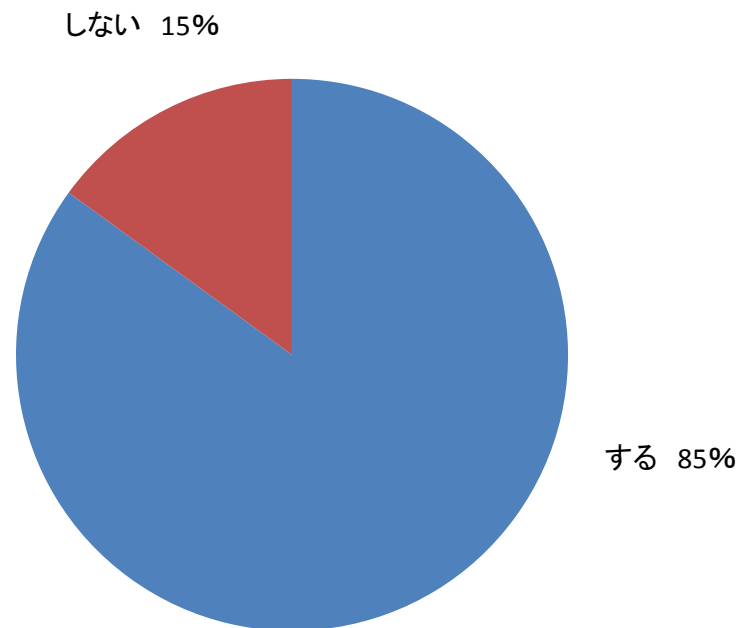
6割以上の方が1000円と回答している。

花を選ぶ際に何を基準に選びますか？



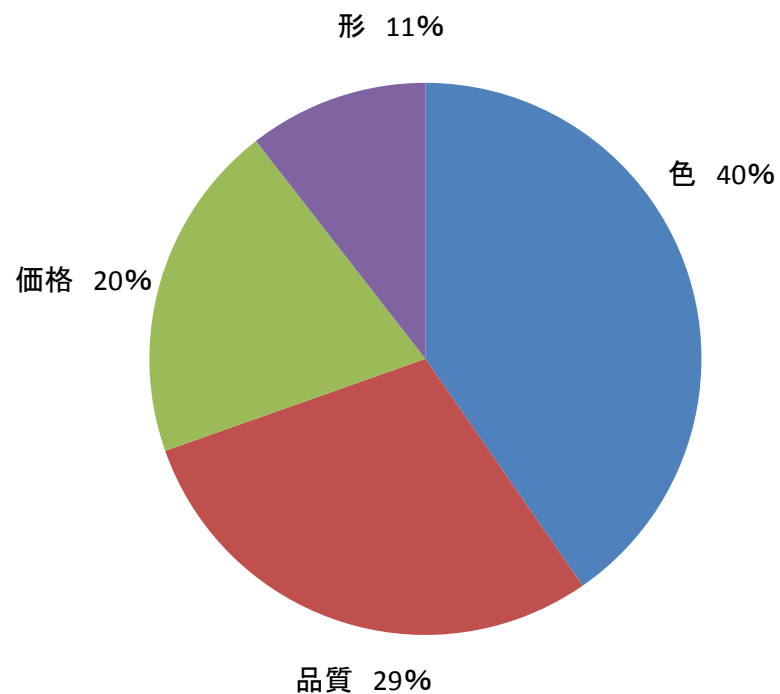
色を選択基準にしている人が4割となっている。

花の日持がすれば、これまで以上に花を購入されますか？



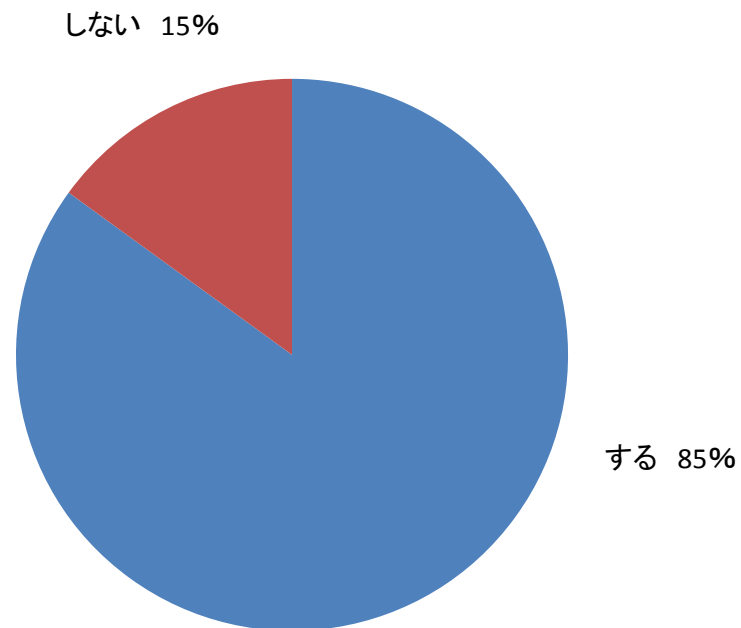
すると答えた方が8割以上おり、日持への関心の高さが伺える。

花を選ぶ際に何を基準に選びますか？



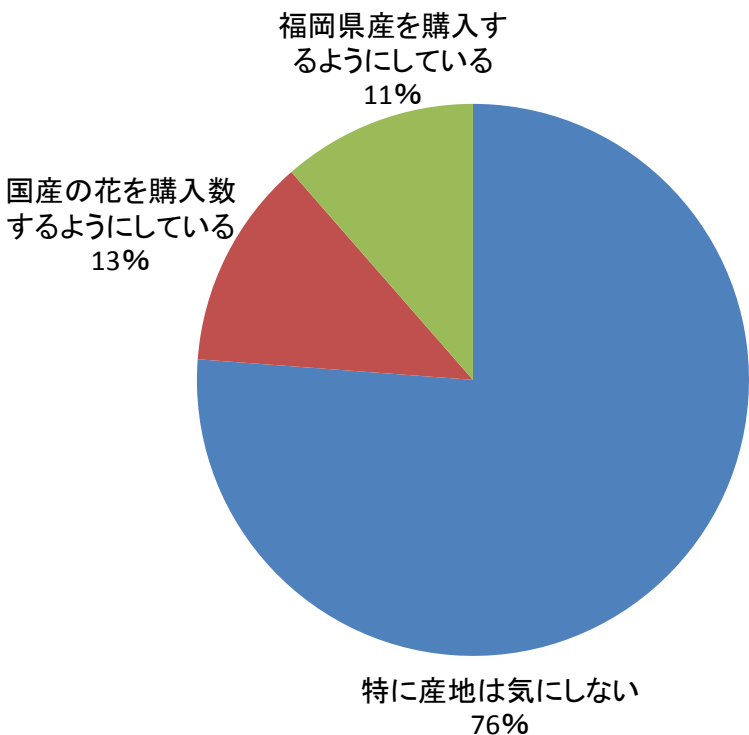
色を選択基準にしている人が4割となっている。

花の日持がすれば、これまで以上に花を購入されますか？



すると答えた方が8割以上おり、日持への関心の高さが伺える。

花を選ぶ際に何を基準に選びますか？



花を選ぶ際に産地を気にして購入する人はほとんどいない。

花を購入しない理由はなんですか？

- | | |
|---------------|-------|
| 家にある花を飾る。 | 50代女性 |
| 庭に植えているから。 | 60代女性 |
| 高い割に枯れてしまうから。 | 20代女性 |
| 購入する機会が無いから。 | 10代女性 |
| 花を贈るタイミングが無い | 30代男性 |
| 枯れてしまうから。 | 30代女性 |
| すぐに枯れるから。 | 20代女性 |

アンケート調査からの傾向。

- 自家消費における購入が多かった。
 - 花の価格をよく知っていた。
 - 購入頻度が多かった。
 - まだまだ花屋での購入が多い。
 - 母の日より誕生日での贈り物としての需要が多い。
 - 色を基準として選ぶ人が多かった。
 - 日持ちにはほとんどの人が関心がある。
 - 産地は特にこだわっていない。
 - 若い年代の人達が花の購入に対してネガティブな意見が多い。
-